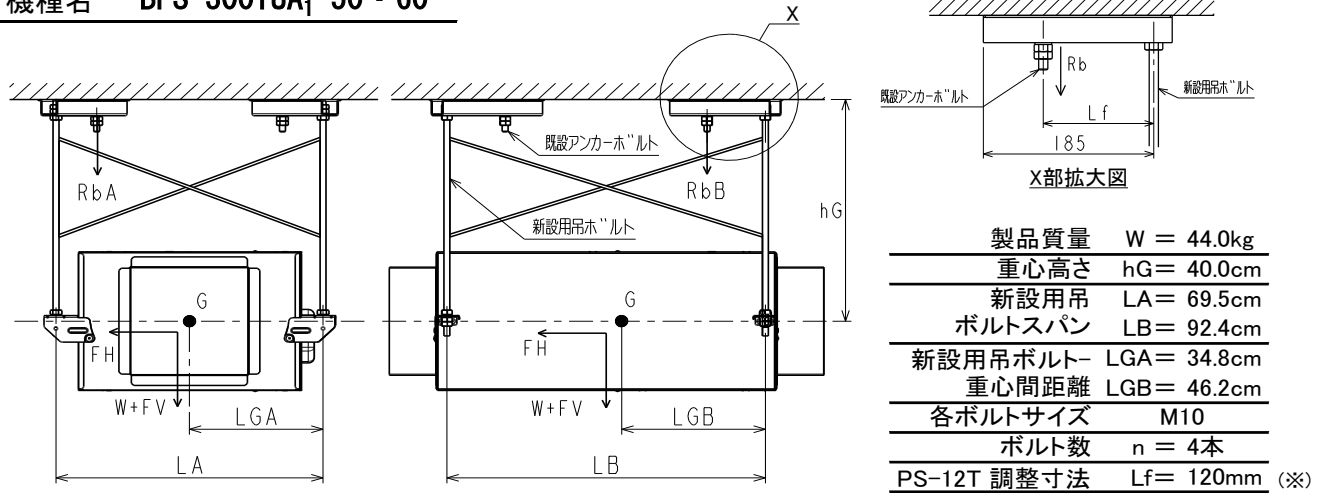


三菱電機株式会社

	作成 '20-12-23 恒川	改定			
	検認 百瀬, 柏原	決定			

ストレートシロッコファン耐震強度検討書 <天吊アタッチメントPS-12Tを用いた場合の既設アンカーボルトについて>

機種名 **BFS-300TUA₁-50・60**



各設計用標準震度、地域係数に対する計算結果

設計用標準震度	KS	1.0	1.5	2.0
地域係数	Z	1.0	1.0	1.0
設計用水平震度	KH = KS × Z	1.0	1.5	2.0
設計用水平地震力	FH = KH × W × 9.8	431.2 N	646.8 N	862.4 N
設計用鉛直地震力	FV = FH / 2	215.6 N	323.4 N	431.2 N
既設アンカーボルト引抜力	$R_b = \frac{FH \times hG + (W \times 9.8 + FV) \times (L - LG)}{L \times nt} \times \frac{185}{185 - Lf}$ * L: LA又はLB, LG: LGAまたはLGB, nt=n/2	新設用吊ボルトスパン(RbA)		
		813.4 N	1066.7 N	1320.0 N
		新設用吊ボルトスパン(RbB)		
		725.9 N	935.4 N	1144.9 N
既設アンカーボルトせん断応力度	$\tau = \frac{FH}{n \cdot A}$ ボルト断面積: A = 0.55 cm ²	196.0 N/cm ²	294.0 N/cm ²	392.0 N/cm ²
既設アンカーボルトの短期許容引抜荷重に対する安全率				
あと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形)		4.7 倍	3.6 倍	2.9 倍
短期許容引抜荷重: 3.8 kN				
既設アンカーボルトの短期許容せん断応力度に対する安全率				
ボルト(SS400)		51.5 倍	34.4 倍	25.8 倍
短期許容せん断応力度: 10.1 kN/cm ²				
ステンレスボルト(A2-50)		46.5 倍	31.0 倍	23.3 倍
短期許容せん断応力度: 9.12 kN/cm ²				
以上の計算結果において、上記の既設アンカーボルト M10 は十分な強度を有する				

※「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」を参照しています。

※本検討書は上記条件を元にした既設アンカーボルトについての強度検討書であり、製品の耐震強度を保証するものではありません。

※「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」及び製品の据付説明書に遵守した施工をお願いします。

※天吊アタッチメントPS-12Tの調整寸法Lfは、最大値(120mm)にて算出しています。

ストレートシロッコファン耐震強度検討書	N20KBGT0925-19	産業機器技術課
---------------------	----------------	---------